

地域の背景・課題

基本目標： 1 安心して就農できる環境と安定した雇用を創出する 2 村の自然環境を生かし、新しい人の流れを創出する

- ブラウンスイス牛乳製品は、近年、村特産品の中で一番の売れ筋商品であり、市場調査でも高評価だったが、販促戦略やツールがなく販促体制が不十分。
- ブラウンスイス牛乳製品の付加価値を高める要素の一つとして村の自然環境の素晴らしさがあるが、村外に伝わっていない。
- 村の自然を一番体感できる集客施設が景観にマッチしておらず、ブラウンスイス牛乳製品はじめ物販ブースもない。
⇒ **どのように売るのか、何が必要なのか明確な販売戦略及びツールが必要。また、村の魅力である自然環境や歴史・文化をどのように発信し、誘客につなげるのか、そして村民自身が「営業パーソン」として村の理解を深めるための仕掛けが必要。**

取組の概要

しごと創生：農林水産分野

1 ブラウンスイス牛売り出しプロジェクト

- 販促戦略会議を立上げ、戦略策定
 専門家を交えて目指す姿を共有し、ロードマップに沿って始動
- 販促ツールの作成
 - ・商品コンセプトとブラウンスイスのロゴ作成
 - ・商品リーフレット作成
 - ・HPIにブラウンスイスコーナー造設



2 村の認知度向上プロジェクト

- SNSとポータルサイトを連動させた全国初の試み「産山村ぽーたる」開設
- ポータルサイト連動イベント実施
 - ・初めての産山フリーマーケット(2回)
 - ・草原のバイオリンコンサート
 - ・産-1フォトコンテスト(SNSによる投稿)
- リベラルアーツ講座「産山社子屋」の開始
- 観光情報と村トリアをまとめたガイドブック「村の取説」作成



3 村の資源の有効活用プロジェクト

- ヒゴタイ公園ビクターセンター改修
 空撮やVR画像が鑑賞可能
- ヒゴタイ公園散策ガイド作成
- 村の起源調査
 産山村の歴史的起源を探り、現在の村の生活がいかに生まれたのかを調査

【広域連携】移住定住拠点整備

- 空き家調査及び家屋データ整備
- 移住お試し住宅の整備
- 村の暮らし体験モニターツアー実施

【広域連携】観光客受入体制整備

- 村観光協会HP多言語化
- 飲食メニュー多言語化
- 草原トレッキングコース作り検討会立上げ及び現地調査を開始

今後は、加速化交付金事業で取り組んだ事業を更に磨き上げ、村の自然を五感で楽しむことができる仕掛けに取り組めます。